

岐阜高専、短期留学生インターンシップ修了式を挙げる

平成 29 年 8 月 31 日に、岐阜高専は、トリノ工科大学タシケント校から 1 名、ハノーバー大学から 2 名の短期留学生のインターンシップ修了式を行った。

滞在中、トリノ工科大学タシケント校の 2 名は電子制御工学科に、ハノーバー大学の 2 名は環境都市工学科と建築学科の研究室に配属され、ロボット、耐震防災、景観等の研究活動に取り組んだほか、学外研修や成果発表会等の場を通じて、本校の学生との交流を深めました。短期留学生のうち 1 名が途中で緊急帰国しなければならない事態となったが、その他の短期留学生は、無事修了式を迎えることができた。

本校は、平成 25 年度から毎年、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の支援を受け短期留学生の双方向交流（派遣・受入）を実施しています。この双方向協定型の短期交換プログラムは、JASSO の短期研修・研究型の受入れ支援により初めて可能となり、岐阜高専学生・教員の国際化・グローバル人材育成に大いに寄与している。修了式では、懇談の後、国際交流室副室長らの立会いの下に、伊藤義人校長から学生に修了証書が手渡された。



短期留学生インターンシップ修了式後の記念写真（前列右から 2 人目が伊藤校長）